

| | |
|------|--------------|
| タイトル | 表紙・目次・論文扉・奥付 |
| 著者 | |
| 引用 | 年報新人文学(16) |
| 発行日 | 2019-12-25 |

新 人文学

Annual Bulletin
of the
New Humanities
Vol. 16

〔巻頭言〕

日本語のローマ字表記に 対する西洋人の貢献

中川かず子

〔論文〕

中世人の動物観

～『古今著聞集』巻二十「魚蟲禽獸」を素材に～

追塩千尋

元正天皇期の北方経営

佐々木律子

『苔の衣』穂久邇文庫本系統

巻一・四相当諸本について

関本真乃



〈翻訳〉

モンゴルの詩学——創成と構築, その基本概念と体系を巡って

ドロンテンゲル(満全) 著 テレングト・アイトル 訳

●〔実践報告〕

介護分野の外国人技能実習生における 日本語使用意識の変化とその要因

—実習生のインタビュー調査から—

守岡みのり

〔彙報〕 平成三十年度 大学院文学研究科 学位論文題目一覧
文学研究科教育・研究発表活動覧
●編集後記



〔巻頭言〕

日本語のローマ字表記に対する西洋人の貢献 中川かず子……………002

〔論文〕

中世人の動物観 追塩千尋……………008

〔古今著聞集〕巻二十一「魚蟲禽獸」を素材に

元正天皇期の北方経営 佐々木律子……………040

『苔の衣』穂久邇文庫本系統 関本真乃……………078

巻一・四相当諸本について

〔翻訳〕

モンゴルの詩学 ドロンテンゲル(満全) 著 テレンゲトタイトル 訳……………173

——創成と構築、その基本概念と体系を巡って

●〔実践報告〕

介護分野の外国人技能実習生における 実習生のインタビュー調査から 守岡みのり……………145

日本語使用意識の変化とその要因……………(029)

〔彙報〕

平成三十年度 大学院文学研究科 学位論文題目一覧……………174
文学研究科教育・研究発表活動覧……………182
編集後記……………184

年報 新 人文 学

【第十六号】

目次

二〇一九年十二月発行

Annual Bulletin
of the
New Humanities
Vol. 16

Annual Bulletin of the New Humanities

Vol. 16

December 2019

Contents

Foreword

Kazuko
NAKAGAWA Westerners' Contribution to the Japanese Writing System of
Romaji

Articles

Chihiro OISHIO Attitude toward Animals in medieval age of Japan
~ through the analysis of "Kokonchomon jyu" Vol.20 ~

Ritsuko SASAKI Northern Management in the reign of the Emperor
Genshyou

Masano
SEKIMOTO A Study on Similarity among Various Manuscripts regarding
volume 1 and 4 from *Koke no Koromo* of Honokunibunko

Translation

Aitoru
TERENGUTO MANQUAN (DORONTENGRI).: Mongolian Poetics:
For Systematization of Formation, Construction and Concepts.

Report

Minori
MORIOKA Practical issues on change of consciousness of the foreign technical
trainees' using the Japanese language in the field of caregiving :
through the qualitative research by interviewing with the trainees

Notes

Editorial Notes

論 文

中世人の動物観

『古今著聞集』卷二十一「魚蟲禽獸」を素材に

追塩千尋

元正天皇期の北方経営 佐々木律子

『苔の衣』穂久邇文庫本系統
関本真乃
卷一・四相当諸本について



◆表紙の「ふくろう」について

表紙に描かれている「ふくろう」には、二重の意味が込められています。ひとつは古代アテネの「ミネルヴァのふくろう」に由来する、「知恵なし学問」の象徴という意味です。哲学者ヘーゲルが、「ミネルヴァのふくろうは、日の暮れ始めた夕暮れとともに、はじめてその飛翔を始める」と述べたことは、つとに有名です。

もう一つの意味は、北海道に生息する天然記念物「シマフクロウ」に由来しています。シマフクロウは、北海道のなかでも手つかずの自然が残っている場所にしか生息しませんが、その表情には思慮深い哲人を思わせる威厳があります。古来アイヌの人たちは、この鳥をコタンコロカムイ（村の守護神）と呼んで神聖視してきました。

本誌は、この「ミネルヴァのふくろう」と「シマフクロウ」にあやかっ、北の大地から新しき学問の地平をきり拓くべく、大いなる飛翔の場たらんとするものです。

年報 新人文文学〔第十六号〕 Annual Bulletin of the New Humanities

発行日——令和元（二〇一九）年十二月二十五日 発行

編集者——北海道大学大学院文学研究科『年報 新人文文学』編集委員会

北海道大学大学院文学研究科内

〒〇六二―八六〇五 北海道札幌市豊平区旭町四丁目一 番四〇号

電話（〇二）八四一―二六二〔代表〕 FAX（〇二）八二四―七七二九

編集委員——徳永良次 十渡部あさみ

発行者——菅 泰雄

発行所——北海道大学大学院文学研究科 札幌市豊平区旭町四丁目一 番四〇号 電話（〇二）八四一―二六二〔代表〕

